

ジュニア部門／写真

審査評

新型コロナウイルスの影響で、なかなか自由に外に出られない中であつたにも関わらず、子供たちは、自分の身の回りに目を向け、心に留まった一瞬をそれぞれに写し取ろうとしてくれました。どの作品からも、対象に対する子供たちの小さな感動や発見、興味などが感じられ、シャッターを押そうとしている子供たちの姿が見えてくるようでした。

中でも、大賞と優秀賞、奨励賞の4点は、その子だけの独特の視点で対象を撮影していることから、対象への強い思い入れを感じることができました。偶然できた形や模様に関心をもち、身近な動物の愛くるしさに心を惹かれたりして、子供たちが対象に強い思いをもち、その気持ちを表すためにそれぞれが様々な工夫をして撮影をしたことがこれらの写真から見取ることができます。4点の作品は、私たち見る者にもその感動を伝えることに成功していると言えます。また、残念ながら入賞しなかった作品の中にも、素晴らしい作品はたくさんありました。今後も、身の回りに目を向け、様々なことに感動し、その感動を写真に収めることを楽しんでほしいと思います。

(広島県立教育センター 指導主事 神原 菜穂子)